

みずほCustomer Desk Report 2023/06/13号 (As of 2023/06/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.43
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	139.37	1.0746	149.82	1.2577	0.6745
SYD-NY High	139.76	1.0790	150.34	1.2600	0.6774
SYD-NY Low	139.08	1.0734	149.71	1.2487	0.6732
NY 5:00 PM	139.62	1.0757	150.16	1.2512	0.6751
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,066.33	189.55	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	13,461.92	202.78	日本10年債	0.4300%	0.0000%
S&P	4,338.93	40.07	米国2年債	4.5834%	▲0.0111%
日経平均	32,434.00	168.83	米国5年債	3.9007%	▲0.0130%
TOPIX	2,238.77	14.45	米国10年債	3.7424%	0.0000%
シカゴ日経先物	32,765.00	335.00	独10年債	2.3805%	0.0030%
ロンドンFT	7,570.69	8.33	英10年債	4.3330%	0.1000%
DAX	16,097.87	148.03	豪10年債	3.9315%	▲0.0195%
ハンセン指数	19,404.31	14.36	USDJPY 1M Vol	8.70%	0.05%
上海総合	3,228.83	▲ 2.57	USDJPY 3M Vol	8.78%	▲0.07%
NY金	1,969.70	▲ 7.50	USDJPY 6M Vol	9.17%	▲0.03%
WTI	67.12	▲ 3.05	USDJPY 1M 25RR	▲0.92%	Yen Call Over
CRB指数	256.94	▲ 3.59	EURJPY 3M Vol	8.34%	0.00%
ドルインデックス	103.65	0.10	EURJPY 6M Vol	8.83%	▲0.06%

【昨日の指標等】

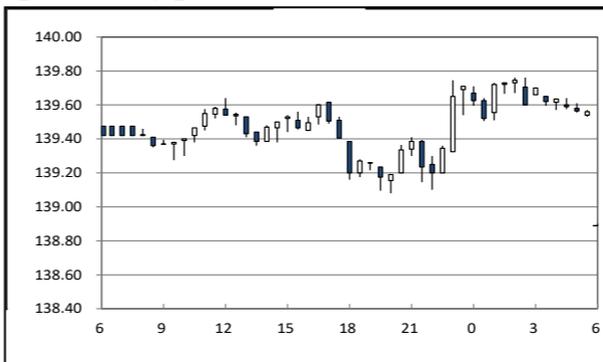
Date	Time	Event	結果	予想
-	-	-	-	-

【本日の予定】

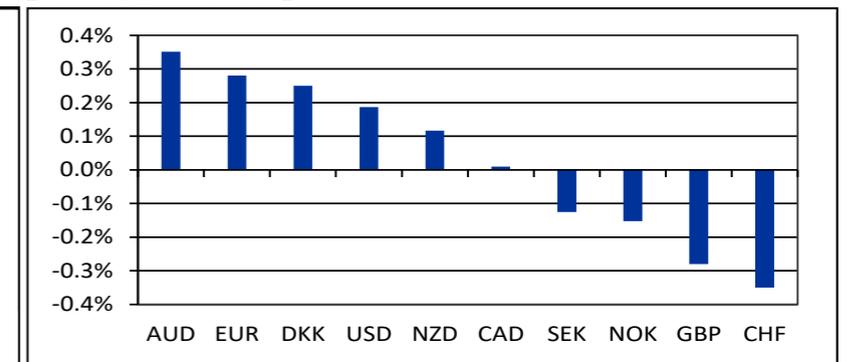
Date	Time	Event	予想	前回
6月13日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)	5月 -0.1%/-0.1%	6.1%/6.1%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/4.1%	0.4%/4.9%
	21:30	米 CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	5月 0.4%/5.2%	0.4%/5.5%

東京	週明け東京市場は139.37レベルでオープン。直後につけた139.28が東京時間安値に。その後はドル人民元がドル高に振れたことに加え、上昇する日本株を横目にクロス円上昇でドル円も堅調な推移。正午前に東京時間高値である139.64まで上昇。ただ、日経平均が後場に入ると一時急落、ドル円も上昇分を打ち消す。その後は139.45を挟んで横ばいの展開となり、139.47レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.47レベルでオープン。特段の材料がない中、米金利低下を背景に139.08まで売られ、結局139.39レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0753レベルでオープン。今週のECB政策決定会合で25bpの利上げが想定されていることから1.0790まで堅調に推移し、結局1.0763レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台半ばでスタート。日本株の堅調な展開を眺めながら、クロス円を中心に円売り圧力が強まり、139.60台付近まで上昇する。その後、今週多数の日米イベントを控え、方向感乏しい推移が続く、139.39レベルでNYオープン。オープン直後はじり安で推移し、139.10まで下落するも、その後米金利が反転上昇した事を受け、買い戻しの展開となり、139円台後半まで値を戻す。午後に発表された米10年債の入札結果が低調な内容から米国債売り優勢の展開が続く、米金利が高水準で推移する展開がドル円の下値を支え、高値の139.76を付ける。終盤は再び様子見姿勢となり、139.62レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。今週半ばのECB主要政策金利発表を意識した買いが先行し、1.07台後半まで値を上げる。その後は買いが失速し、1.0763レベルでNYオープン。朝方は米金利が急伸する展開を受け、ドル買いが強まり、再び1.07台半ばまで反落する。午後米金利が堅調な展開が上値を抑え、安値の1.0744を記録するが、米5月CPI結果発表を控え、様子見ムードから動意乏しくなり、1.0750付近での小動き後、1.0757レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.00-140.00	1.0700-1.0850	149.00-151.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は、139円台にてもみ合いの展開となった。欧州時間は、ドル売りから一時139円付近まで下落した。NY時間に入ると、一転、米金利の上昇に伴い139円台後半まで持ち直したが、上昇一服後は伸び悩み、139円半ば付近まで反落してクローズした。この日発表されたNY連銀の短期インフレ期待が低下したこともドル/円の上値を重くした。本日も東京時間はイベントを控えた様子見から139円台を中心としたもみ合いが継続すると予想。NY時間には、米5月・CPIの発表が予定されており、予想通りインフレ率の低下が見られれば、今日から始まる米FOMCIにおける政策金利の据え置きを予想する向きが増え、ドル/円はやや上値重い展開となるか。また、本日は独5月・CPIや独6月ZEWの発表が予定されており、結果次第では今週のECB会合での利上げ観測が強まりユーロが強含むか。但し、FOMCを始めとする各国の金融政策決定会合の結果発表は明日以降のため、値幅は限定的となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・逸見